

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号

160

江戸川区立西小岩小学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年		第6学年		学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	+2	+2	+4	令和8年度の目標	+2.0	+2.0	+2.0	+2.0	+2.0	+2.0	+2.0	+2.0
令和7年度の結果	0	+2	+2	令和7年度の結果	+2.0	-1.8	+1.4	+2.6	-1.0	+3.9	+1.8	+3.1
令和6年度の結果	-5	-8	-13	令和6年度の結果	-0.6	-0.5	-0.4	+0.2	+4.0	+5.1	-5.7	-6.6
令和5年度の結果	-1	-2	-3	令和5年度の結果								
年度	令和7年度			令和8年度								
内容	成果と課題			目標				目標達成に向けた取組				
学校全体	【成果】 ○算数で、東京ベーシックドリルやドリルパークを週1回ステップアップの時間を実施し、得点率の低かった問題に取り組んだり、習熟度に応じた学習ができるよう授業を工夫したりしたことで、各層の児童の力を伸ばすことができた。 【課題】 ○全国学力・学習状況調査の結果から、国語では必要な情報を見つけて読む問題や、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く問題の得点率が低かった。算数では「測定」「変化と関係」の得点率が低かった。			【国語】 ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を読み取れるようにする。 ○自分の考えが伝わるように、考えをまとめて表現できるようにする。 【算数】 ○基礎基本の充実を図り、長さや重さの目盛りや数直線を読むことができるようにする。				【国語】 ○話型「話し方・聞き方名人」を各教室で掲示し、言語環境を整える。 ○よむYOMUワークシートを週1回、ステップアップの時間を実施する。 【算数】 ○東京ベーシックドリルの間違えた問題に繰り返し取り組む。 ○測定及びグラフの学習で、長さや重さの目盛り、グラフの目盛りなどを読めるように、基礎基本の定着を図る。				
第1学年	【成果】 ○算数で、週に1回以上ドリルパークを計算練習や苦手な単元の定着に活用し、基礎力を向上させることができた。 【課題】 ○記述式の問題において、自分の考えを書き力が低い。 ○平仮名やカタカナの定着に課題が見られる。 ○文章問題で何を問われているのかを把握することに難しさを感じている児童が多い。			【国語】 ○平仮名やカタカナ、漢字の定着を図る。 ○文章のまとまりを意識して、すらすら音読できるようにする。 【算数】 ○問題場面を図で表し、考えられるようにする。 ○2桁までの加法、減法の計算ができるようにする。				【国語】 ○タブレットを活用し、繰り返し定着を図る。 ○プリントやドリルパークを活用し、定着を図る。 【算数】 ○ドリルパークを活用しながら、スモールステップで簡単な問題から取り組むようにする。 ○Study weekを活用し、苦手を克服する時間を確保する。				
第2学年	【成果】 ○算数で、東京ベーシックドリル診断シートの結果において、4月と2月の診断テストを比較すると、平均点の割合が8%程度上がった。ステップアップの時間に繰り返し得点率の低かった問題に取り組んだことで、得点が5割以下だった児童の学力の底上げを行うことができた。 【課題】 ○算数で、測定領域の得点率が比較的低かった。			【国語】 ○平仮名やカタカナ、漢字の定着を図る。 ○文章のまとまりを意識して、すらすら音読できるようにする。 【算数】 ○基礎・基本の着実な定着を図る。 ○加法や減法、かけ算九九、時計の読み方の定着を図る。				【国語】 ○ドリルパークを活用し、定着を図る。 ○プリントやドリルパークを活用し、定着を図る。 【算数】 ○ドリルパークを活用しながら、スモールステップで簡単な問題から取り組むようにする。 ○Study weekを活用し、苦手を克服する時間を確保する。				
第3学年	【成果】 ○江戸川区学力調査の国語の正答率の全国平均を上回ることができた。特に記述式の問題で、高い正答率になっており、自分の意見を抵抗感なく書けるようになってきた。 【課題】 ○江戸川区学力調査の算数の正答率が全国平均よりも低かった。 ○加法・減法の計算の正答率が全国平均より低いなど、基礎・基本の定着を徹底していく必要がある。			【国語】 ○主語述語を適切に使い、考えたことを整理しながら文章で表現したり、発表したりできるようにする。 【算数】 ○基礎基本の着実な定着を図る。 ○時刻と時間などの測定領域の学習の定着を図る。				【国語】 ○授業の中で主語述語を適切に使い、書いたり発表したりできるよう指導を実践する。 ○宿題プリントやマイサインシートを活用し、定着を図る。 【算数】 ○習熟度別での指導を行い、基礎基本の定着を図る。 ○ステップアップの時間に、苦手な領域の問題を繰り返し取り扱うことで、基礎・基本の着実な定着を図る。				
第4学年	【成果】 ○江戸川区学力調査の結果において、国語、算数共に正答率が全国平均を上回ることができた。朝学習の時間を通し、ベーシックドリルで苦手分野に取り組んだ成果が出てきた。 【課題】 ○国語に関しては、C層の割合が多く、応用問題に関しては区の平均より2%下回った。 ○算数においては、D層の割合が多く、基礎・基本の正答率が低かった。			【国語】 ○国語で自分の意見を分かりやすく文章で説明できるようにする。 【算数】 ○基礎・基本の着実な定着を図る。 ○加法・減法など繰り返し行うことで、正しく計算できる力を身に付けられるようにする。				【国語】 ○文章の要旨をとらえ、つなぎ言葉などを上手に活用し、聞かれていることに分かりやすく答えられるようにする。 ○クラスで、意見を交流する機会を増やすことで、分かりやすい文章に触れることができるようにする。 【算数】 ○ステップアップの時間に、正答率が低い問題を繰り返し行うことで、基礎・基本の着実な定着を図る。 ○習熟度別算数では、児童に合った課題に取り組めるよう、進捗状況や置きをその都度確認し、共通して指導できるようにする。				
第5学年	【成果】 ○ステップアップの時間に、4月の調査で正答率の低かった問題を中心にベーシックドリルで復習を行い、3学期の江戸川区学力調査の算数の平均正答率は、全国・江戸川区を上回ることができた。 【課題】 ○江戸川区学力調査の結果、国語の平均正答率が全国、江戸川区ともに1%下回った。「思考・判断・表現」の正答率は全国より高いが、「知識・技能」の正答率は全国より3.7%低かった。			【国語】 ○話すこと・聞くことの正答率が高いので、発表や意見を伝え合う共有の時間の確保をしていく。 【算数】 ○習熟度別での指導を行い、基礎・基本の定着を図る。 ○「角」「重さ」「分数」を苦手としているので、具体物などを用いるなど視覚的に理解できるようにしていく。				【国語】 ○国語辞典を活用し、語彙を増やすことができるよう指導を行う。 ○タブレット端末を活用したり、家庭と連携したりして繰り返し学習に取り組むことで、知識・技能が定着できるようにする。 【算数】 ○習熟度別での学習を継続していく。 ○ステップアップの時間・前学年の復習ができる時間を確保する。 ○算数少人数授業を行い、習熟度に合わせた指導を実践する。				
第6学年	【成果】 ○ステップアップの時間に正答率の低かった問題に取り組んだり、習熟度別に授業を展開したりしたことで、算数の平均正答率、正答率どちらも全国を上回ることができた。 【課題】 ○江戸川区学力調査国語の、達成率が全国よりも低い。 ○江戸川区学力調査算数の「データの活用」「平均」が、全国と江戸川区よりも平均正答率が低い。			【国語】 ○知識・技能が確実に身に付けられるようにする。 【算数】 ○基礎、基本の定着を図り、計算練習を繰り返すだけでなく、計算の方法や意味についても理解し、定着できるようにする。				【国語】 ○国語辞典を活用し、語彙を増やすことができるよう指導を行う。 ○タブレット端末を活用したり、家庭と連携したりして繰り返し学習に取り組むことで、知識・技能が定着できるようにする。 【算数】 ○ステップアップの時間・前学年の復習ができる時間を確保する。 ○算数少人数授業を行い、習熟度に合わせた指導を実践する。				